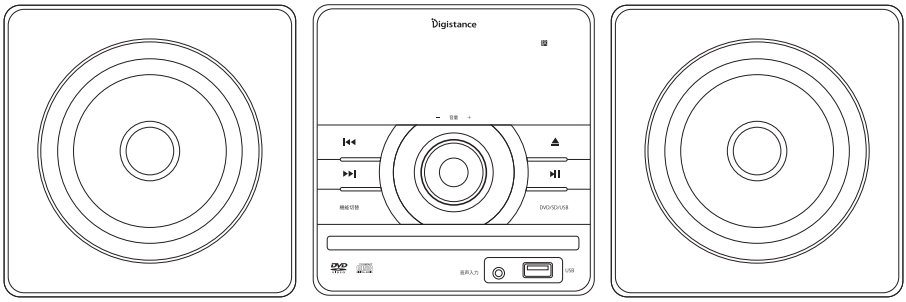
2CH CD/DVD ステレオコンポ　DS-HT120BK

取扱説明書



このたびは本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分に理解されたうえ、正しくご使用ください。

また、必要な時にお読みいただけるよう、大切に保管してください。

巻末に製品保証書がございます

付属品の確認

パッケージの中に以下のものが入っているかよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。

- CD/DVD プレーヤー本体
- スピーカー２個
- リモコン
- FM アンテナ
- 単４型乾電池２本（リモコン動作確認用）
- 取扱説明書
- クイックスタートガイド

目次

安全にお取り扱うために・・・・・・3

準備編

各部説明……6
準備…… 11

基礎編

電源を入れる…… 15
ディスプレイの説明…… 15
リモコンの使用…… 15
モードの切り替え…… 16
CD の再生 …… 16
FM ラジオを聴く …… 19
外部音声機器を聴く…… 20
電源を切る…… 20

応用編

音声の調節…… 21
CD の再生 …… 21
DVD ビデオの再生 …… 23
SD カードの再生 …… 26
USB メモリーの再生 …… 26
ファイルの再生…… 27
CD から SD/USB へコピー …… 28
設定画面の説明…… 30

困ったときは・・・・・・・・・・ 38

製品仕様・・・・・・・・・・・・ 42

問い合わせ・・・・・・・・・・・ 42

安全にお取り扱うために

！警告

●この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人の生命および身体に危険が及んだり、火災が発生したりするおそれが想定される内容を示しています。

●表示された電源電圧、交流 100V 以外の電源で使用しないでください。

●お客様ご自身で本体を分解しないでください。

●本体を改造しないでください。

●本体から発煙、異臭がする場合は、直ちに電源ケーブルを取り外してください。発煙が収まったのを確認してから、弊社にお問い合わせの上、修理をご依頼ください。そのまま使用しますと、火災や感電の恐れがあります。

●電源ケーブルを束ねたり、電源ケーブルに重いものを載せたりしたまま使用しないでください。

●電源ケーブルが切れかかり、導線が露出した状態で使用しないでください。

●本体を不安定な場所において使用しないでください。

●本体の開口部に金属や燃えやすいものを差し込まないでください。

●異物が本体内に入った場合は、電源ケーブルを抜いてください。

●水が入ったり、濡れたりする場所で使用しないでください。

●本体に花瓶や液体の入ったコップなどや、細かい金属片を置かないでください。

●万が一本体に水が入った場合は、すぐ電源プラグを抜いてください。

! 注意

●この内容を無視して誤った取り扱いを行うと、人が傷害を負う、または物的損害を被るおそれが想定される内容を示しています。

●クリーニングの際は、シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。
●本体を長時間使用されない場合は、電源プラグを抜いてください。
●移動の際は、本体の電源を切り、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
●電源プラグを抜く際は、電源ケーブルを引っ張らないでください。
●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
●電源ケーブルを熱源に近づけないでください。
●本体に重いものを載せたり、踏んだりしないでください。
●本体を落としたり、振動を与えたりしないでください。
●夏場の日の当たる場所や、自動車の中に放置しないでください。
●湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
●小さなお子様が使用する場合は、電気製品および本製品の取り扱いを理解した大人の監視と指導のもとで行ってください。
●本製品は無線周波を放射するため、他のオーディオ機器などの電波妨害を引き起こす場合があります。その場合は電源を切り、電源プラグを抜いてください。対処法としては、本体とほかのオーディオ機器などとの距離を開ける、それぞれの電源コンセントの位置を変更するなどがあります。
●傷ついたディスク、汚れたディスク、12cm の円盤型以外のディスクを使用しないでください。
●ディスクトレイに、再生用ディスク以外の異物を挿入しないでください。
●金属片などの異物を、SD カードスロットや USB 端子に接触させないでください。

その他の注意

●本機には、画面の比率を変える設定項目があり、それにより画面の見え方に違いが出ます。そのとき、飲食店やホテル等で、公衆に視聴させることを目的として、画面の比率を変更して再生を行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

●近隣の迷惑にならないよう、音量に配慮してください。特に夜間や早朝はご注意ください。

ご了承いただきたいこと

●本書の内容、本製品の仕様、外観等につきましては、将来予告無く変更する場合があります。それによる逸失利益等につきましては、弊社では一切責任を負えませんのでご了承ください。

●本書は万全を期して作成いたしましたが、万が一内容に相違がありましたら、弊社までご連絡ください。

●本書の内容の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になる他は、著作権法上、弊社に無断で使用できません。

●本機の使用、あるいは本機の修理、破損、交換により生じた傷害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきまして、弊社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

●地震や雷等の自然災害、火災、第三者からの行為、その他の事故、お客様の故意･過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷などの損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。

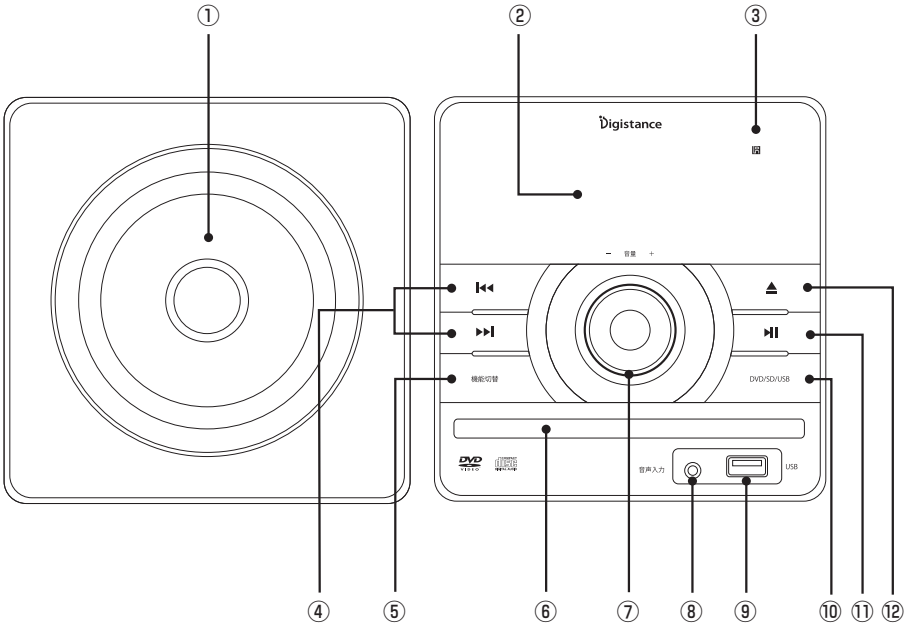
●本製品は、一般家庭での使用を前提に製造されています。特に業務用（店舗での放映）などの目的で、過度に長時間連続再生で使用された場合は、保証期間内であっても保証の対象外となります。

●本製品は、日本国内での使用を想定して製造されています。海外での使用はサポート及び保証の対象外とさせていただきます。

準備編

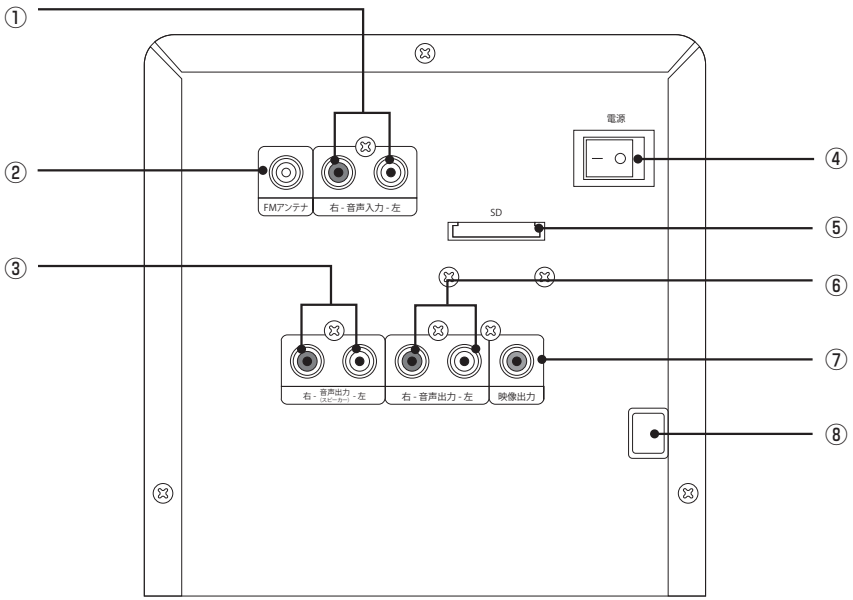
各部説明

正面



①スピーカー	音声を出力します。
②ディスプレイ	再生中のトラック・経過時間などの情報を表示します。
③リモコン受光部	リモコンはこちらに向けて操作します。
④頭出し	次（前）のチャプターを再生します。
⑤機能切替	DVD 再生→ FM ラジオ→外部音声入力のモードを切り替えます。
⑥ディスクトレイ	ディスクを挿入するトレイです。
⑦音量つまみ	左へ回すと音量が下がり、右へ回すと音量が上がります。
⑧音声入力（＊1）	音楽プレーヤーなどを接続します。ステレオオーディオケーブルで入力します。
⑨ USB	USB メモリを接続し、データファイルを再生します。
⑩ DVD/SD/USB	DVD 再生モードにおいて、再生するデバイスを選択します。
⑪再生・一時停止	再生を止めます。もう一度押すと、止めた場所から再生します。
⑫イジェクト	ディスクトレイを開閉します。

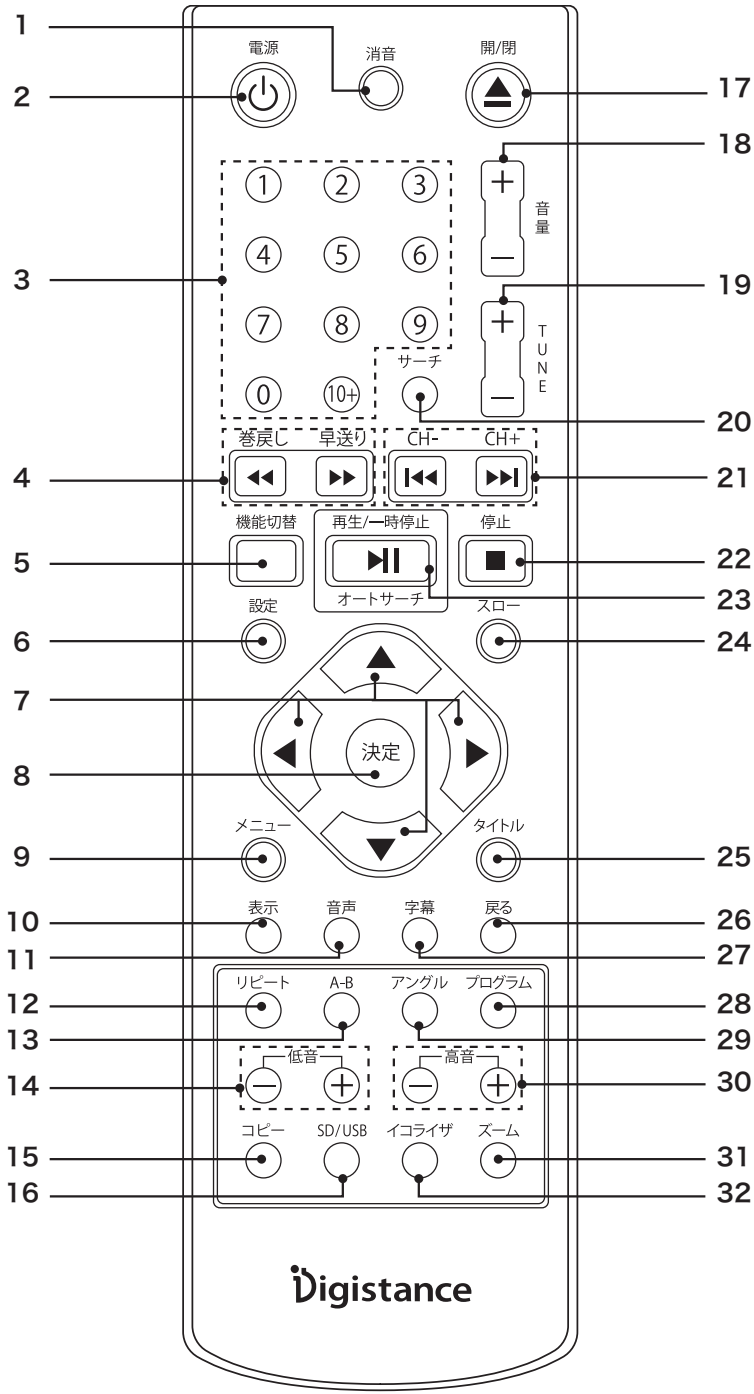
本体裏面



①音声入力（＊1）	AV 端子を用いた音声の入力を行います。
②アンテナ入力	付属のアンテナを接続します。FM ラジオ聴取時に必要です。
③音声出力（スピーカー）	付属のスピーカーと接続します。
④電源スイッチ	本体の電源を入・切します。電源が切の場合はリモコンの操作ができません。
⑤ SD カードスロット	SD カードを挿入し、ファイルを再生します。
⑥音声出力（＊1）	テレビモニターと接続し、音声を出力します。付属スピーカーを使用する場合は接続の必要はありません。
⑦映像出力（＊1）	テレビモニターと接続し、映像を出力します。AV ケーブルは別途ご用意ください。
⑧電源ケーブル	本体を電源コンセントに接続します。

（＊1）：接続ケーブルは別途ご用意ください。

リモコン


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
電源
消音
開/閉
音量
TUNE
サーチ
巻戻し
早送り
CH-
CH+
機能切替
再生/一時停止
停止
オートサーチ
設定
スロー
決定
メニュー
タイトル
表示
音声
字幕
戻る
リピート
A-B
アングル
プログラム
低音
高音
コピー
SD/USB
イコライザ
ズーム
Digistance

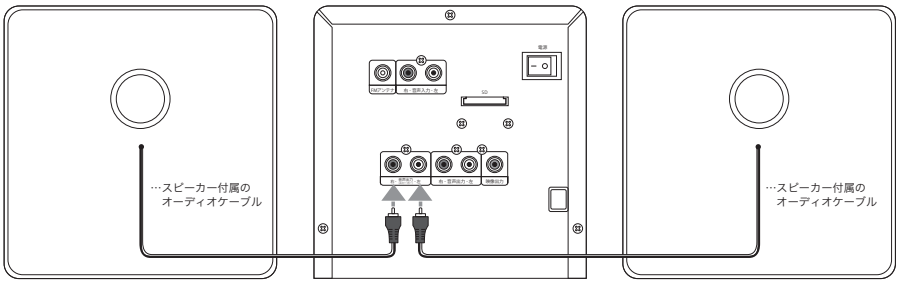
1　消音	音声を一時的に消します。もう一度押すと、音声が出力されます。
2　電源	電源の入切を切り替えます。本体背面の電源スイッチが入状態で行います。
3　数字	数字を入力します。10 以上の数字を入力する場合は +10 ボタンを使用します。例えば +10 ボタンを３回押して２ボタンを押すと、32 が入力されます。
4　巻き戻し・早送り	再生位置を高速で戻したり進めたりします。ボタンを押すたびに x2、x4、x8、x16、x32 倍速になります。
5　機能切替	ディスク再生モード→ FM ラジオ→外部音声入力の順番に機能を切り替えます。
6　設定（＊ 1）	本体の設定を行います。外部映像出力が必要です。
7　方向（＊ 1）	DVD メニュー設定画面などで、選択部分を移動します。
8　決定（＊ 1）	DVD メニュー、設定画面などで、選択されている部分を確定します。
9　メニュー（＊ 1）	DVD ビデオのメニュー画面に戻ります。
10　表示	ディスクにおける時間の表示を切り替えます。ボタンを押すたびにシングル経過、シングル残り、ディスク経過、ディスク残りから選択します。
11　音声	音声の切り替えを行います。
12　リピート	再生中のトラックを繰り返し再生、またはディスクを繰り返し再生します。
13　A-B	始点と終点を指定し、指定箇所を繰り返し再生します。
14　低音	低い音の調節を行います。
15　コピー（＊ 1）	CD 再生中に押すと、CD から MP3 ファイルを作成する設定画面を開きます。
16　SD/USB	読み込みメディアを選択します。
17　開閉	ディスクトレイを開閉します。
18　音量	音量を調節します。
19　TUNE	FM ラジオにおいて、周波数を変更します。

20　サーチ（＊ 1）	指定したトラック、チャプター、タイトル、時間を再生します。
21　頭出し	次（前）のトラックに進み（戻り）ます。FM ラジオの場合、登録したチャンネルを切り替えます。
22　停止	再生中に一回押すと、一時停止状態になります。もう一度押すと、再生位置はクリアされ、再生ボタンを押すと初めから再生されます。
23　再生・一時停止	再生中に押すと、一時停止状態になります。もう一度押すと、再生が再開されます。FM ラジオモードではオートサーチが行われます。
24　スロー（＊ 1）	映像をゆっくり再生します。スロー再生中は音声が出ません。
25　タイトル（＊ 1）	DVD ビデオのタイトルメニューに戻ります。
26　戻る	プログラム画面、設定画面、CD リッピング画面を閉じます。
27　字幕（＊ 1）	字幕の切り替えを行います。
28　プログラム（＊ 1）	再生順を指定して再生できます。
29　アングル（＊ 1）	DVD ビデオに複数のアングルが収録されている場面では、押してアングルを切り替えます。
30　高音	高い音の調節を行います。
31　ズーム（＊ 1）	画面を拡大・縮小表示します。
32　イコライザ	イコライザ設定の選択をします。設定により、周波数ごとの音の大きさが上下します。

（＊ 1）：テレビモニターとの接続が必要な操作です

・スピーカーとの接続

付属のスピーカーを、本体背面のスピーカー端子に接続します。本体正面向かって右側に配置したスピーカーは右側のスピーカー接続端子に、左側に配置したスピーカーは左側の端子に接続してください。

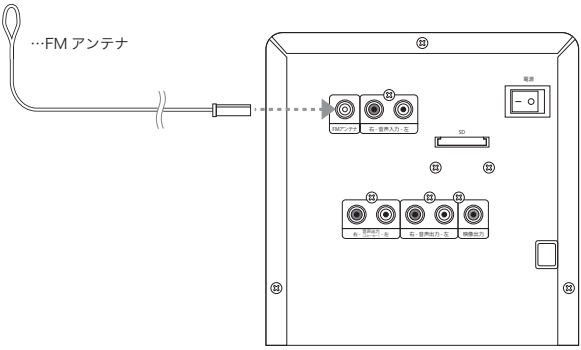


※必ず付属のスピーカーを接続して使用してください。他製品のスピーカーは使用できません。また、付属のスピーカーは他製品では使用できません。

・アンテナとの接続

本体背面のアンテナ接続端子に、付属のアンテナケーブルを接続します。

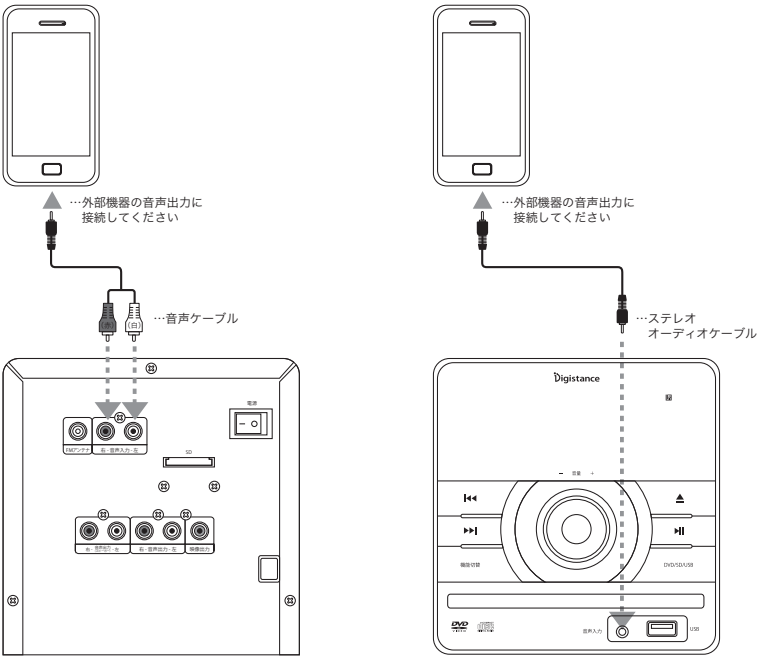
アンテナケーブルは窓際等、FM ラジオの電波を受信しやすい場所に配置してください。



・外部音声機器との接続

外部音声機器（音声出力端子を備えたビデオデッキ、ゲーム機など）を接続して、スピーカーから音声を出力できます。

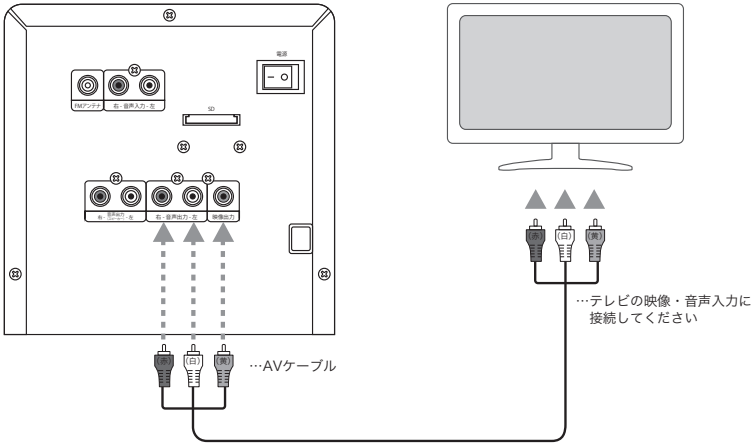
外部機器の音声ケーブルを、本体背面もしくは前面の音声入力端子に接続します。



※外部機器接続用の音声ケーブルは同梱されていませんので、別途ご用意ください。

・テレビとの接続

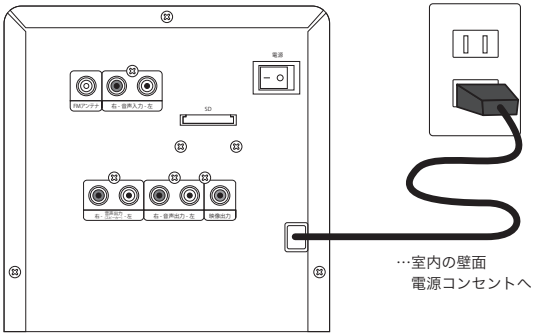
本体で DVD の再生や、SD/USB メモリーに保存されている画像・映像の視聴を行う場合は、本体をテレビに接続します。AV ケーブルで本体と TV を接続します。



※本体背面の映像出力端子の隣に音声出力端子がありますが、本体スピーカーのみを使用して音声出力する場合はテレビと接続する必要はありません。
※本体に AV ケーブルは同梱されていませんので、別途ご用意ください。

・電源ケーブルの接続

最後に本体の電源ケーブルを、家庭用コンセント（AC100V 50/60Hz）に接続します。

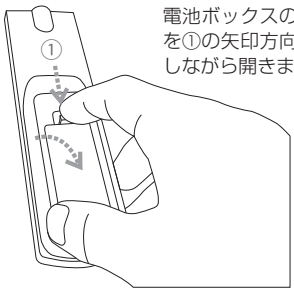


リモコンの準備

使用する前に、付属のリモコンに乾電池をセットします。

①電池ボックスの蓋を開ける

リモコンを裏面にし、指先で蓋を開き、電池ボックスの蓋を取り外します。



電池ボックスのツメを①の矢印方向に押しながら開きます。

②電池をセットする

単４型乾電池２本を、電池ボックスにセットします。向きを間違えないようにしてください。

③電池ボックスの蓋を閉じる

取り外した電池ボックスの蓋を閉じます。

※本製品を長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り外してください。

基礎編

電源を入れる

電源を入れるには、本体背面の電源スイッチをオンにします（ー印が押された状態）。

電源スイッチをオンにした状態で、かつリモコンで電源を切っている場合は、リモコンの電源ボタンを押してください。ディスクがトレイの中に入っている場合は再生が始まります。

ディスプレイの説明

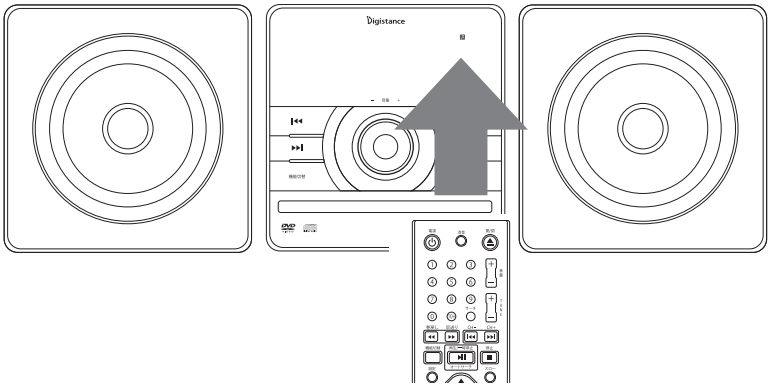
再生中、本体ディスプレイは以下の内容を表示します。

①再生中	④一時停止中
② DVD 再生中	⑤トラック No、時：分：秒
③ MP3 ファイル再生中	⑥リピート再生中

リモコンの使い方

リモコンを操作する時は、本体のリモコン受光部に向けて行ってください。

リモコンと本体が離れすぎず、障害物がない状態で操作してください。



モードの切り替え

電源を入れると、ディスク再生モードが起動します。本体、またはリモコンの機能切替ボタンを押すと、押すたびにラジオモード、外部音声入力モード、ディスク再生モードに切り替わります。

※ディスクの読み込み開始時は、モードの切り替えができません。

CD の再生

ここでは、基本的な音楽 CD の再生について説明します。データファイル（mp3、jpeg、動画など）の再生については応用編をご覧ください。

・再生可能ディスク

ディスクは 12cm サイズで、円盤形のものを使用してください。それ以外のサイズのディスクや、円盤型以外のものは再生できません。

また、傷ついたディスク、裏側が汚れているディスク、レコーダーの品質が原因で記録状態が悪いディスクは、再生できない場合があります。

・CD-AUDIO	市販の CD。
・CD-R/-RW	レコーダーなどを使用し、一般的な CD プレーヤーで再生可能な形式（CD-DA）で音声を記録したディスク。

※ CD-R/-RW を本機で再生するには記録した機器でのファイナライズ処理が必要です。

※コピーコントロール CD は音楽 CD の規格とは異なるため再生の保証はできません。

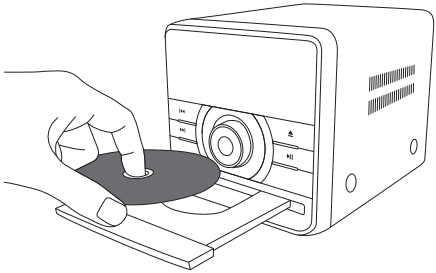
・ディスクのセット・取り外し

本体またはリモコンの開 / 閉ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。

ディスクのレーベル面を表（上）にして、ディスクトレイにセットします。

トレイにディスクをセットしたら、もう一度本体またはリモコンの開 / 閉ボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。

ディスクをセットすると、自動的にディスクの再生が始まります。

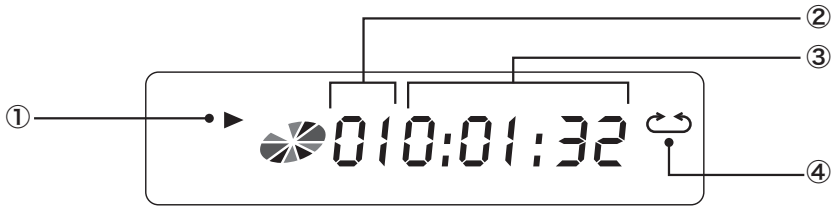


ディスクの取り外しも同様に、ディスクトレイを開き、ディスクトレイからディスクを取り外して、ディスクトレイを閉じる操作になります。

取り外したディスクは読み取り面に汚れや傷がつかないよう、ケースなどに入れて保存してください。

・ディスプレイの説明

CD 再生中、本体ディスプレイは以下の内容を表示します。



①再生中	③経過時間または残り時間（数字の最後の 5 桁）
②トラック番号（数字の最初の 2 桁）	④リピートマーク

・音量の調節

音量の調節は、本体の音量つまみを回すか、リモコンの音量ボタンを操作して行います。

音量は0～ 36 まで切り替わります。音量調節時のディスプレイ表示は以下の内容となります。

・トラックの選択

本体またはリモコンの頭出しボタンを操作すると、別のトラックを再生します。

頭出しボタンを押すたびに、トラックが一つずつ進み（戻り）ます。

・早送り、巻き戻し

リモコンの早送り・巻き戻しボタンを押すと、高速で再生位置が移動します。ボタンを押すたびに速さが 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍に変わります。

再生したい位置で再生ボタンを押します。

・一時停止

再生中にリモコンまたは本体の再生・一時停止ボタンを押すと、再生が止まります。もう一度押すと、再生が再開します。

・停止

リモコンの停止ボタンを押すと、再生した位置を記憶して止まります。この状態で再生ボタンを押すと、再生が再開します。

リモコンの停止ボタンを 2 度押すと、再生位置は初期化されます。再生ボタンを押すと、初めから再生されます。

FM ラジオを聴く

ここでは本体でラジオを聴く方法を説明します。

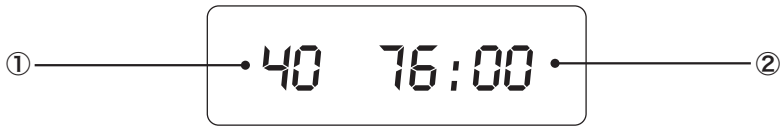
・ラジオモードに切り替える

電源を入れ、ディスクの読み込み動作が終了し、ディスク再生モードが起動したら、本体またはリモコンの機能切替ボタンを押します。

本体ディスプレイの表示が変わります。

・ラジオモードのディスプレイ表示

ラジオ視聴中、本体ディスプレイは以下の内容を表示します。



①チャンネル番号	②周波数表示（上図は 76.00MHz を表示中）

・オートサーチ

オートサーチを行うと、受信できる放送局を自動的に探し、チャンネルに登録します。

リモコンの再生・一時停止ボタンを押すと、オートサーチが始まります。

最大４０チャンネルまで登録されます。

・チャンネル切替

オートサーチを行った後、リモコンの頭出しボタンを押すと、登録された放送局を切り替えることができます。

・チューニング

リモコンの TUNE ボタンを押すと、周波数を 0.1MHz 単位で変更することができます。

※ TUNE ボタンでチューニングを行うと、現在のチャンネルに登録された周波数も変更されます。

外部音声機器を聴く

ラジオモードからさらに本体またはリモコンの機能切り替えボタンを押すと、外部音声モードに切り替わります。

この状態で、本体正面または背面の音声入力端子に接続された機器からの音声を聴くことができます。

外部音声モードの時のディスプレイ表示

※本体正面と、背面の音声入力端子両方に音声機器を接続された場合は、どちらか片方の音声がスピーカーから出力されます。両方の音声を同時に入力しないでください。

電源を切る

リモコンの電源ボタンを押すと、ディスクの再生やスピーカーからの音声が止まり、待機状態になります。この状態ではリモコンの電源ボタンを押すと復帰します。

本体背面の電源スイッチを切り替えると、本体の電源が切れます。この状態ではリモコンの操作は受け付けません。次に使用する場合は背面の電源スイッチを切り替えます。

※長期間使用しない場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

応用編

ここでは、応用的な操作について説明します。

音声の調節

・低音、高音の調節

リモコンの高音・低音ボタンを操作すると、高音や低音が強調、または抑制されます。

調節は－７から＋７の１５段階です。

高音・低音ボタンで操作すると、本体ディスプレイには以下の内容が表示されます。

低音（Ｂａｓｓ）の調節時

高音（Ｔｒｅｂｌｅ）の調節時

・イコライザ

リモコンのイコライザボタンを押すと、出力される音声に音響効果が適用されます。

ボタンを押す度に、あらかじめ設定された項目に切り替えられます。

「ロック」「ポップ」「ライブ」「ダンス」「テクノ」「クラシック」「ソフト」「オフ」

CD の再生

・リピート

指定したトラック・ディスク全体を繰り返し再生します。

リピートボタンを一回押すとトラックを、２回目を押すとディスク全体を繰り返し、３回目を押すとリピート再生を解除します。

・数字ボタンによるトラック選択

再生中に数字ボタンを押すと、指定した番号のトラックを再生します。

１０以上を指定したい場合は、+10 ボタンを 10 の位の回数だけ押し、続いて下一桁の数字ボタンを押します。

例：+ 10 を2回押して、１ボタンを押すと、21 番目のトラックが再生されます。

・A－Bリピート

指定した区間を繰り返し再生します。

A-B ボタンを押して始点を決め、終点でもう一度 A-B ボタンを押すと、繰り返し再生が始まります。

・時間の指定

サーチボタンを押すと、時間の部分が反転表示します。一度押すとディスク経過時間、二度押すとトラック経過時間の指定ができます。

リモコンの数字ボタンで時間を指定すると、指定された場所から再生が行われます。

※この操作にはテレビモニターとの接続が必要です

・プログラム

プログラムを設定し、指定した順番で再生します。

方向ボタン、数字ボタンを使用してプログラムを作成し、「開始」を選択して決定ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

※この操作は本体を映像ケーブルでテレビモニターにつなぎ、テレビに映して行います。

DVD ビデオの再生

本体を AV ケーブルなどでテレビモニターへ接続することで、DVD を再生できます。

・再生可能ディスク

再生できるディスクは以下の通りです。

・DVD-VIDEO	市販の DVD でリージョンコードが2のもの。
・DVD ± R/ ± RW ・DVD-R DL (Video モード)	アナログ放送をダビングしたものや、ビデオカメラなどで撮影した映像を収録したディスクです。

※再生前に、作成したレコーダーでファイナライズを行ってください。

・以下のディスクは再生できません

・DVD-R/-RW(VR モード)

デジタル放送（地デジ含む）をダビングした CPRM ディスク。

・直径が 12cm 以外の特殊な形状の DVD

直径が小さいもの、円板型とは異なる形状のもの。

・その他、特殊な仕組みの DVD。

・汚れていたり、傷ついていたりするディスク。

・2以外のリージョンコードが設定されている DVD。

※リージョンコード

市販の DVD-VIDEO には、市場を守る目的で、国ごとにリージョンコードが設定されています。プレーヤーと DVD-VIDEO のリージョンコードが一致しないと再生できません。

リージョンコード	国
1	アメリカ・カナダ
2	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
3	東アジア・東南アジア・香港
4	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
5	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
6	中国

CD と操作が共通なもの

DVD においても、一般的に CD 再生と同様な操作が可能です。

・再生／一時停止

・停止

・早送り／巻き戻し

・頭出し

・数字ボタンによるトラック選択

・A-B リピート

・プログラム

・イコライザ

CD と操作が共通でも異なる機能を持つもの

以下に示す機能は、CD と DVD とで操作方法は同じですが、機能が異なります。

・リピート

リピートボタンを押すたびに、チャプターリピート、タイトルリピート、ディスク全体の繰り返し再生、繰り返し再生しない設定に切り替えることが可能です。

・サーチ

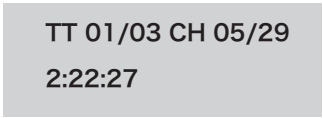
チャプター・タイトルを数字ボタン、左右方向ボタンで入力し、指定した部分から再生することができます。

続けてサーチボタンを押すことで、指定した時間から再生することもできます。

・表示

画面に時間を表示します。

押すたびに、「タイトル経過」「タイトル残り時間」「チャプター経過」「チャプター残り時間」「表示オフ（表示しない）」の切り替えを行います。



・音声

複数の音声が収録されている DVD において、音声を切り替えます。

※ディスクによっては、メニュー画面からのみ切り替えができる場合があります。

メニュー・タイトル

再生中にリモコンの「メニュー」ボタンを押すと、DVD メニュー画面に戻ります。

再生中にリモコンの「タイトル」ボタンを押すと、DVD の各タイトルに用意されているメニュー画面が開きます。

ズーム

再生中の画面を拡大・縮小表示します。

リモコンの「ズーム」ボタンを押すたびに、x2、x3、x4、x1/2、x1/3、x1/4 の順番で拡大縮小します。

拡大中に方向ボタンを押すと、拡大されている場所を移動できます。

スロー

リモコンのスローボタンを押すと、ゆっくり再生されます。

スピードは 1/2、1/4、1/8、1/16 です。

※スロー再生中、音声は出力されません。

字幕

字幕が収録されているディスクでは、リモコンの「字幕」ボタンを押すことで、字幕の表示・非表示・字幕言語の切り替えが可能です。

※ディスクによっては、メニュー画面でのみ切り替えが可能な場合があります。

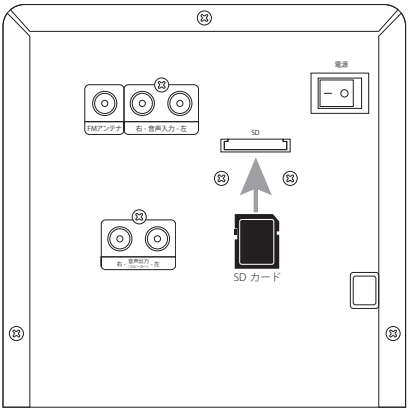
アングル

複数アングルが記録されているディスクで、アングルの切り替えが可能な場面では、リモコンの「アングル」ボタンを押すと、アングルを切り替えることができます。設定画面の「アングルマーク」を「オン」に設定している場合は、アングル切り替えが可能な場面でマークが表示されます。

SD カードの再生

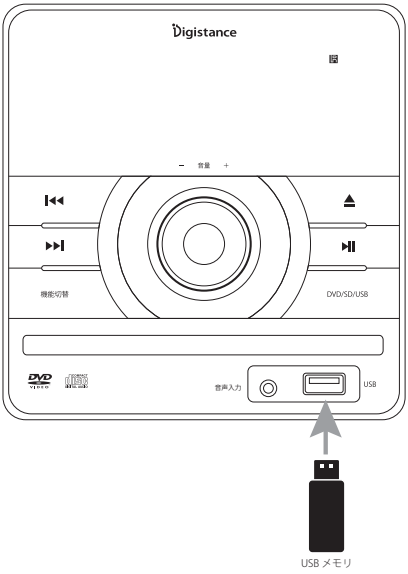
SD カードを本体背面の SD カードスロットに挿入します。

「機能切替」ボタンを押してディスク再生モードが選ばれている状態で、本体の「DVD/SD/USB」またはリモコンの「SD/USB」ボタンを押すと、SD カードスロットのデータの読み込みが開始します。



USB メモリーの再生

USB メモリーを正面の USB 端子に差し込みます。「機能切替」ボタンを押してディスク再生モードが選ばれている状態で、本体の「DVD/SD/USB」またはリモコンの「SD/USB」ボタンを押すと、USB メモリーの読み込みが始まります。



ファイルの再生

USB/SD/ ディスクに収録されているファイル(.MP3/.JPG/.AVI 等)を再生できます。

①再生中の曲の経過時間	**④画像の解像度**
②選択中のファイル番号／総ファイル数	**⑤再生中のメディアの種類**
③曲の長さ	**⑥画像のサムネール**

方向ボタンでファイルを選択し、決定ボタンまたは再生ボタンで再生開始します。停止ボタン、またはメニューボタンでファイル選択画面に戻ります。プログラムボタンを押すとファイル一覧・フォルダ表示・プレイリスト（設定している場合）表示を切り替えられます。

リピート再生

リピートボタンを押すたびに、フォルダ（表示中のファイルを一度ずつ再生)、シングル(指定したファイルを一度だけ再生)、単一リピート(指定したファイルをリピート再生)、フォルダリピート（表示中のファイルを繰り返し再生）を切り替えます。

プレイリスト

指定した特定のファイルを再生するプレイリストを作成できます。

ファイル一覧・フォルダ表示において、指定したファイルを選択してアングルボタンを押すと、プレイリストに追加されます。

プレイリストは、プログラムボタンを複数回押すと確認できます。

プレイリスト表示から、ファイルを選択して再生します。

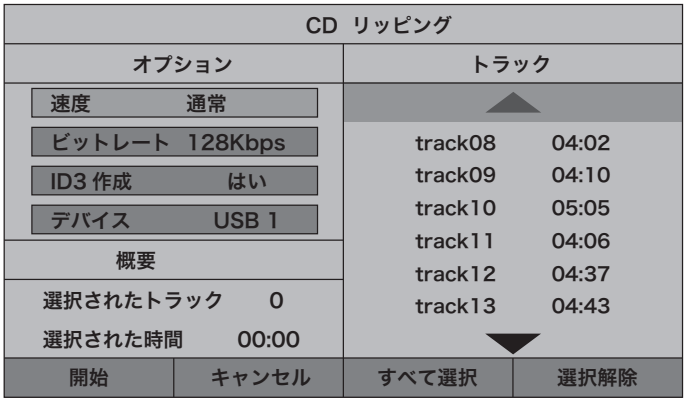
プレイリスト表示において、ファイルを選択した状態でアングルボタンを押すと、そのファイルがプレイリストから削除されます。

CD から SD/USB へコピー

CD を MP3 ファイルに変換して、ＳＤ /USB に保存します。

CD を再生中に SD/USB メモリーを挿入し、リモコンの「コピー」ボタンを押します。

保存する曲と、オプションを設定して、「開始」を選択して「決定」ボタンを押します。



・速度

・通常（CD を再生しながら変換を行います。変換時間は再生時間と同じです）

・高速（CD を再生しないで変換を行います。高速で変換を行います）

・ビットレート

・96/112/128/192/256/320kbps から選択し、数値が大きいほど音質は上がりますが、ファイルの容量は多くなります。

・ID3 作成

・MP3 ファイルに ID 3タグを埋め込むかどうかの選択を行います。

・デバイス

・SD/USB 複数差し込まれている場合は、保存先を選択します。

すべて選択：ディスクのすべてのトラックを選択します。

選択解除：選択していたトラックを、選択していない状態にします。

トラックを選択して決定ボタンを押すと、チェックマークの入・切が切り替わり、変換対象の選択ができます。

▲▼ボタンを押すと、表示されていないトラック（曲）が表示されます。

開始を選択して決定ボタンを押すと、CD のコピーが始まります。

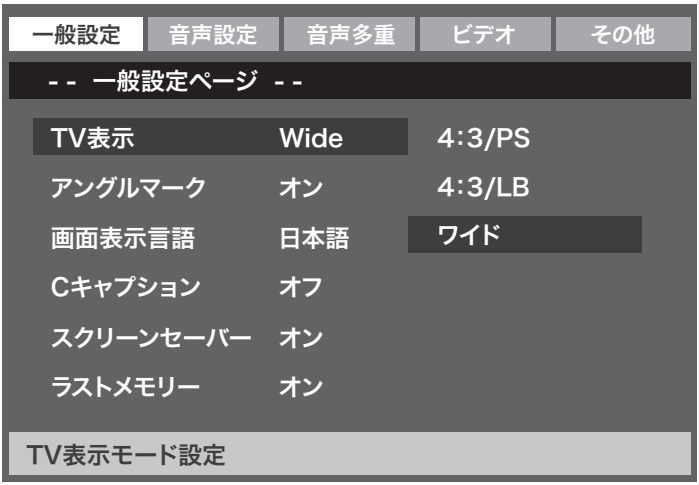
作成された MP3 ファイルは、SD/USB の「CDA_RIP」フォルダに格納されます。

※本体に時計機能がないため、ファイル作成日時は現在の時刻にはなりません。
※ファイル名、曲名、アーティストなどの情報はパソコンで編集してください。

設定画面の説明

リモコンの「設定」ボタンを押すと、本体の設定を行う画面が表示されます。

※操作を行うにはテレビ画面に接続して頂く必要があります。
※主に DVD プレーヤーとしての設定です。



・画面内の操作　上部タブ

●左右ボタン：タブの選択

●下ボタン：設定項目へカーソルを移動

●設定ボタン：設定画面を閉じる

・画面内の操作　下部

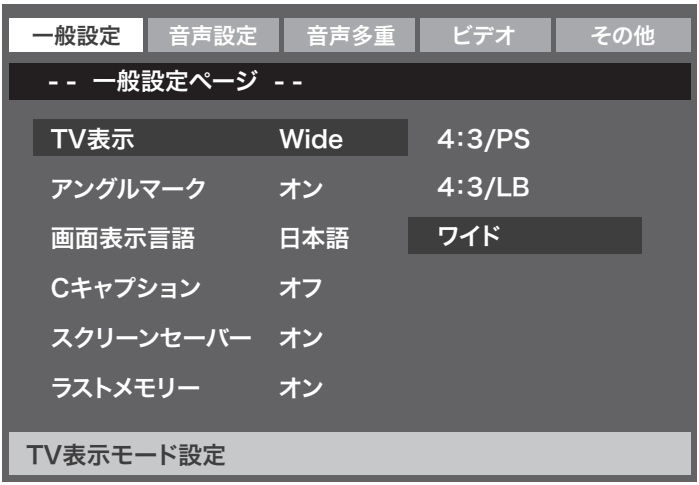
●上下ボタン：設定項目の移動

●決定ボタン：設定項目の選択肢へ移動、選択肢の決定

●右ボタン：選択肢へ移動

●左ボタン：キャンセル。設定項目の選択中に押すとタブの選択へ戻る。

【一般設定】



・TV 表示

画面の比率を調節します。お使いのテレビに合わせた表示に設定してください。

● 4:3/PS（パンスキャン）

画面比率が 4:3 のテレビにおいて、映像の上下の長さに合わせて表示します。

ワイド映像では左右は隠れます。

● 4:3/LB（レターボックス）

画面比率が 4:3 のテレビにおいて、映像の左右の長さに合わせて表示します。

ワイド映像の場合は上下に黒い帯が表示されます。

●ワイド

ワイドテレビ（比率が 16:9）の場合に設定します。

・アングルマーク表示

DVD ビデオ再生中、アングルが切り替え可能な場面になると、マークが表示されます。オフに設定すると表示されません。

●オン：アングル切り替え可能マークを表示します。

●オフ：アングル切り替え可能マークを表示しません。

・画面表示言語

設定画面などに表示される言語を変更します。「日本語」「ENGLISH（英語）」から選択します。

※英語版の取扱説明書はございませんのでご了承ください。

・C キャプション

クローズドキャプションの設定を行います。「オン」「オフ」から選択します。クローズドキャプションに対応していない DVD ビデオには無効です。

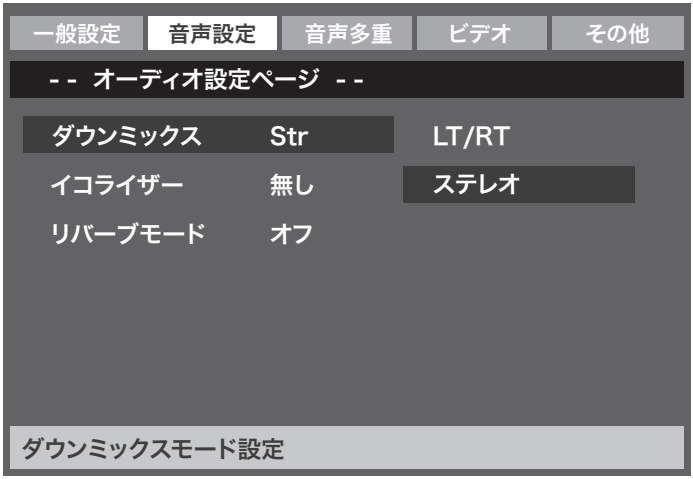
・スクリーンセーバー

停止状態で一定時間操作がない場合は、画面を保護するためにスクリーンセーバーが起動します。「オン」「オフ」から選択します。

・ラストメモリ

再生中にディスクを取り出し、次にディスクを挿入した場合や、電源を切ったあと、次に電源を入れて再生を行った場合、ディスクを再生していた場面の続きから再生を行います。

【音声設定】



・ダウンミックス

5.1CH サラウンド音声を含めた DVD を再生する際の、サラウンド音声の設定を行います。

● LT/RT：左右のサラウンド音声を混合して、モノラル音声として出力します。

●ステレオ：左右のサラウンド音声は、それぞれ左、右音声として出力されます。

・イコライザー

音の高さごとに音量を調節し、音響効果をつけます。以下の項目から選択します。

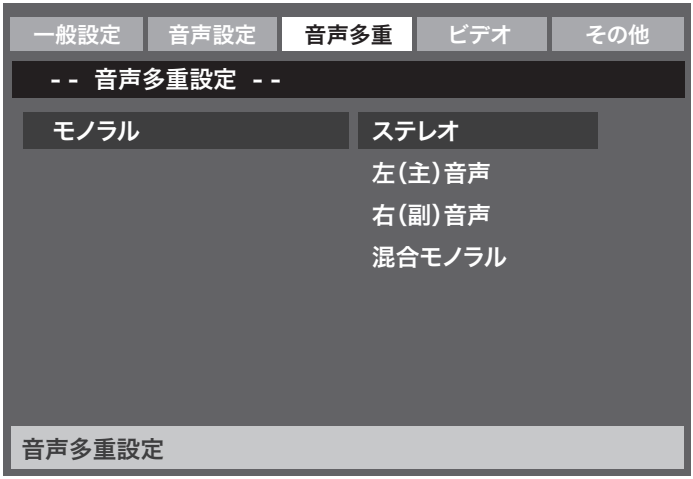
「無し」「ロック」「ポップ」「ライブ」「ダンス」「テクノ」「クラシック」「ソフト」

・リバーブモード

設定された場所にいるような残響効果を与えます。

「オフ」「コンサート」「リビングルーム」「ホール」「浴室」「地下」「アリーナ」「教会」

【音声多重】



・モノラル

音声多重の DVD-Video を再生する場合、再生する音声を選択します。

「ステレオ」「主音声」「副音声」「混合モノラル（主＋副混合）」から選択します。

【ビデオ】

・鮮明度

画面の鮮明さを選択します。「高」「中」「低」から選択します。

・明度

画面の明るさを調節します。左右ボタンで数値を選択し、決定ボタンで確定します。

・コントラスト

画面の明暗差を調節します。左右ボタンで数値を選択し、決定ボタンで確定します。

・ガンマ

出力される映像のガンマ調整をします。「通常」「低」「中」「高」から選択します。

・色合い

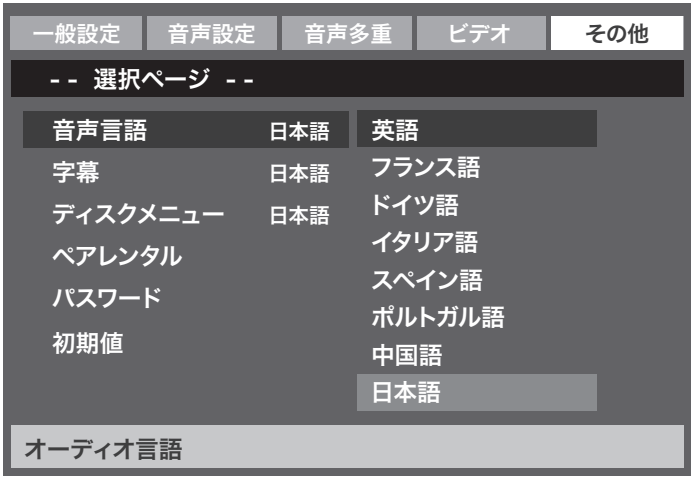
画面の色合いを調節します。左右ボタンで数値を選択し、決定ボタンで確定します。

・色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。左右ボタンで数値を選択し、決定ボタンで確定します。

【その他】

※設定タブ「その他」は、ディスク再生中には選択できません。



・音声言語

複数の言語の音声を収録した DVD ビデオを再生する場合の、音声言語を選択します。

「英語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」「中国語」「日本語」「韓国語」「ロシア語」「タイ語」「その他」

・字幕

字幕が収録されている DVD ビデオを再生する場合の、字幕言語を選択します。

「英語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」「中国語」「日本語」「韓国語」「ロシア語」「タイ語」「オフ」

・ディスクメニュー

ディスクメニューの言語を選択します。

「英語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」「中国語」「日本語」「韓国語」「ロシア語」「タイ語」「オフ」

※ここでの設定による音声言語・字幕・ディスクメニューの選択は、DVD ソフトにより無効になる場合があります。その場合は、DVD のディスクメニューに用意された字幕・音声選択画面、またはリモコンの字幕・音声ボタンを押して選択してください。

・ペアレンタル

年齢による視聴制限の設定を行います。

設定変更には、暗証番号の入力が必要です（設定項目「パスワードモード」がオンの場合）。

・パスワード

ペアレンタル設定変更に必要な暗証番号の設定を行います。

●パスワードモード

「オン」の場合、設定項目「ペアレンタル」の設定変更の際に暗証番号の入力が必要です。この設定項目の変更時に暗証番号の入力が必要です。

●パスワード変更

暗証番号を変更します。変更前の暗証番号、変更後の暗証番号を入力し、「確認」には変更後の暗証番号をもう一度入力します。

※工場出荷時の暗証番号は「1234」です。

・初期値

工場出荷時の設定に戻します。

故障かなと思ったら

CD/DVD コンポに不具合がありましたら、まずこちらの項目をご覧になり、対処を行ってください。それでも不具合が解消されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

・電源が入らない

電源ケーブルが、家庭用電源コンセントに差し込まれていますか？

CD/DVD プレーヤー背面の電源スイッチが入っていますか？

・リモコンが動作しない

リモコンに電池は正しくセットされていますか？

付属の電池は動作確認用です。通常ご使用頂く分は別途ご購入ください。

リモコンの電池が切れていれば交換してください。リモコンに使用する電池は単４型乾電池２本です。

リモコンと本体との間に障害物があれば、取り除いてください。

リモコンは本体の受光部に向けて操作してください。

リモコンから本体までの距離が長いと、リモコンの信号が届かない場合があります。

CD リッピング、プログラム、セットアップ画面が開いていると、CD の再生や早送り・巻き戻し・頭出し・停止などの操作ができません。テレビモニターに接続して画面を確認したうえ、設定画面を閉じてください。

・音声が出力されない

スピーカーが、本体のスピーカー接続端子に正しく接続されていますか？

本体の音量が０になっていませんか？

機能切替ボタンが操作されて、異なるモードに切り替わっていませんか？

消音ボタンが押されていれば、もう一度押して解除してください。

・CD が再生できない

ディスクが正しくディスクトレイにセットされていますか？　絵柄のついている（レーベル）面を表にしてセットしてください。

ディスクが汚れていたり、傷がついている場合は、ディスクを交換するか、ディスクの

手入れを行ってください。

再生可能な音楽 CD は、CD-DA 方式に限られます。HDCD、SACD、コピーコントロール CD などの特殊な CD は再生できません。

レコーダーで作成された CD は、ファイナライズ処理が必要です。

・ラジオ番組が受信できない

アンテナの向き、本体の設置場所を調節し、放送局からの電波を受信しやすい状態にしてください。

視聴中の放送局が、放送休止の場合は受信できません。

機能切替ボタンを押して、ラジオモードに切り替えられていますか？

・SD/USB が再生できない

SD/USB メモリの裏表を確認してください。裏向きですと、挿入・再生できません。

USB 接続のハードディスクなどは、本体からの電力の供給がないため、動作保証できません。

SDXC は対応しておりません。

端子部にさびや汚れがある場合、正常に読み込みができない場合があります。

ファイルを別の SD/USB メモリへコピーし、メディアを交換してください。

・DVD の再生ができない

地デジなど、デジタル放送をダビングしたディスク（VR モード）や、Blu-ray ディスクは再生できません。

ディスクが正しくディスクトレイにセットされていますか？　絵柄のついている（レーベル）面を表にしてセットしてください。

ディスクが汚れていたり、傷がついている場合は、ディスクを交換するか、ディスクの手入れを行ってください。

レコーダーで作成された DVD の場合、作成した機器でファイナライズを行ってください。

・ファイル再生できない

対応できないファイル形式・コーデックである可能性があります。

不可視ファイル（先頭にピリオドのついたファイルなど）は、パソコン側で削除してく

ください。

極端に容量の大きな動画・画像・音声ファイルは、再生に時間がかかるか、再生できない場合があります。

・スピーカーから正常に音が出ない

スピーカーがスピーカー接続端子に正しく接続されているかを確認してください。

・ディスクトレイが開かない

ラジオモード、外部音声入力モードでは、ディスクトレイが開きません。「機能切替」ボタンを押して、CD/DVD モードに切り替えてください。

・音声切り替えができない

複数の音声が収録されていない DVD では、音声の切り替えができません。

一部のディスクは、DVD メニュー画面でのみ変更が可能です。

・字幕の切り替えができない

字幕が収録されていない DVD では、字幕の切り替えはできません。

DVD によっては、ディスクメニューでのみ変更が可能です。

・アングルの切り替えができない

複数アングルが収録されていない DVD や、アングル切り替えができない場面ではアングルの切り替えはできません。

・操作ができない

モニターを接続していない状態で、「プログラム」「コピー」「設定」ボタンを押していることが考えられます。「戻る」ボタンを押して画面を閉じてください。

製品仕様

製品名	2CH CD/DVD ステレオコンポ
製品型番	DS-HT120BK
対応ディスク	DVD、DVD ± R/ ± RW、DVD-R DL、CD、CD-R/-RW
対応形式	DVD-VIDEO、CD-DA、VCD、CD-G
対応ファイル	JPEG、MP3、WMA、AVI、MPG 映像コーデック：mpeg1、mpeg2、xvid 音声コーデック：mp2、mp3
入力端子	外部音声 (ステレオミニプラグφ 3.5mm) 音声入力 (アナログ 2ch)、USB、SD、FM アンテナ
出力端子	AV 出力、Audio 2ch(付属スピーカー用)
FM チューナー	76-90MHz
スピーカー	5W、4 Ω、φ 110mm x 2 個
対応メディア	SD/SDHC（最大 32GB)、USB メモリー
使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	30W　待機時 5W
本体重量	3.5kg
外形寸法	DVD 部：W148xH150xD200 mm スピーカー部：W148xH150xD200 mm
使用温度	5 ～ 35℃
製造国	中国

問い合わせ

株式会社　ゾックス

〒 231-0033　横浜市中区長者町３－８－１３　TK 関内プラザ 304

携帯電話からは 045-228-2095　固定電話からは 0120-602-302

ホームページ　http://www.zox-net.com/

保証規定

1．本製品の使用中、取扱説明書に記載の注意、警告に従って正しく使用され、本製品が故障した場合は、本規定に従い、無償修理させていただきます。また、弊社の判断により、製品の交換をさせていただく場合があります。
2．無償修理を依頼される場合は、弊社またはご購入店までお問い合わせください。
3．製品の生産終了から長期間が経過し、部品の入手が不可能な場合、修理を保証するものではありません。

保証期間内であっても、以下の場合は保証対象外となります。

A．本保証書が本製品に添付されていない場合
B．本保証書に必要事項の記入がない場合、またはご購入店／年月日が証明できる書類（レシート／注文履歴のプリントアウト等）の添付が無い場合。
C．Bの書類の字句が書き替えられた場合や、その他事実と異なる記載がされていた場合
D．使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または誤接続による故障・損傷の場合
E．弊社以外で分解・修理された場合や、改造された場合
F．火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
G．有寿命部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
H．接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアのご使用に起因して本製品に生じた故障・損傷の場合
I．お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
J．お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合。（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入による故障等）
K．日本国外での使用
L．店頭等での販促やデモ機としての使用

※本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間終了後の修理等、アフターサービスについてご不明な点は、本保証書記載の修理受付窓口またはお買い上げの販売店／販売会社へお問い合わせください。
※その他の規定は http://www.zox-net.com/support/ に記載しております。

製品保証書

弊社で定めた保証規定に基づいて保証を行います。保証対象となる修理の際には、保証書に必要事項をご記入の上、ご購入店／年月日が証明できる書類を添付してください。

Digistance

2CH CD/DVD ステレオコンポ　保証書

必要時にご使用いただけるよう、ご購入店／年月日が証明できる書類（レシート、ご注文内容が示されたWebページのプリントアウト等）と共に大切に保管してください。

製品型番	DS-HT120BK
お客様	フリガナ お名前　　様 ☎ 〒 ご住所
取扱い販売店名・住所・電話番号	
保証期間	**保証期間：新品でのご購入日より1年間** ご購入日 年　月　日

■本製品を、取扱説明書の記載に従って正しく使用された場合の故障につきまして、保証期間内であれば無償修理をさせていただきます。弊社または販売店までお問い合わせください。
■ご購入年月日、ご購入者住所氏名、ご購入店名の記入がなく、ご購入年月日／ご購入店名が証明できる書類が無い場合は無効となります。
■ご購入年月日、ご購入者住所氏名、ご購入店などの情報を改ざんした場合は無効となります。
■保証書は紛失されましても再発行は致しませんので大切に保存してください。

※以下の場合は保証対象外となります。

■本書および購入年月日／購入店名の分かる証明書のご提示がない場合。
■使用上の誤り、または改造、不当な修理による故障。
■火災、地震、水害、落雷、その他の天災、公害等による故障。
■取扱説明書に記載されている注意・警告事項に該当する操作、使用方法等による故障や損傷または身体に及ぶ傷害等。
■一般家庭用以外（例えば、業務用等）として使用された場合の故障や損傷。
■日本国外での使用。

製造元

株式会社ゾックス
〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町3-8-13 TK関内プラザ304

製品に関するお問い合わせ
携帯電話からは 045-228-2095　固定電話からは 0120-602-302
お電話でのお問い合わせは：月～金10時～17時
※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。